

**マントル細胞リンパ腫で
幹細胞移植が不適格な場合の
1st line としての
VR-CAP 療法について**

スケジュール

(R-CHOP のビンクリスチンをボルテゾミブにかえたもの)

リツキシマブ	375mg/m ²	d.i.v.	day1
ボルテゾミブ(ベルケイド®)	1.3mg/ m ²	s.c.	day2,5,9,12
シクロホスファミド(エンドキサン®)	750mg/m ²	d.i.v.	day2
ドキシソルピシン	50mg/m ²	d.i.v.	day2
プレドニゾロン	100mg/body	p.o.	day2-6
	(原法は 100mg/ m ²)		
	(原法はすべて day1 開始)		

21 日毎 6 サイクル

支持療法として

Day1:内服アセトアミノフェン クロルフェニラミン

Day2:内服ラモセトロン

ガイドライン上の扱い

記載なし

治療効果

マントル細胞リンパ腫で

幹細胞移植が不適な場合の

1st line としての

VR-CAP 療法と R-CHOP 療法を比較した

第 III 相試験(LYM-3002 試験)

N=487

VR-CAP vs R-CHOP

PFS(無増悪生存期間)中央値 24.7 ヶ月 vs 14.4 ヶ月

OS(全生存期間)中央値 未到達 vs 56.3 ヶ月

観察期間中央値 40 ヶ月

副作用%(Grade3 以上)

VR-CAP vs R-CHOP

好中球減少 88% vs 74%(85% vs 67%) 発熱性好中球減少症 17% vs 14%(15% vs 14%)

血小板減少 72% vs 19%(57% vs 6%) 貧血 51% vs 37%(15% vs 14%)

下痢 30% vs 9%(5% vs 2%) 便秘 25% vs 16%(1% vs 1%)

Infusion reaction 60% vs 46%(21% vs 14%) 末梢神経障害 30% vs 29%(8% vs 4%)

倦怠感 23% vs 19%(6% vs 2%) 末梢浮腫 15% vs 10%(1% vs 1%)